

公 1 青少年の読書活動を振興するための活動の普及及び啓発事業

図書を選定事業

1. 学校図書館向き図書を選定及び選定図書への件名付与の実施……………(1)

小・中・高等学校図書館向き図書を選定する「図書選定会議」を実施する。「図書選定会議」は原則として毎月 2 回開催する。全国学校図書館協議会(以下、「全国 S L A」という)が委嘱する選定委員が学校図書館向き図書を「全国学校図書館協議会選定図書」として選定する。これは全国 S L A 設立の翌年(昭和 26 年 2 月)から行われているもので、その結果は機関誌『学校図書館速報版』に随時発表する。また、選定図書への件名付与作業も実施する。「全国学校図書館協議会選定図書」の中から事業ごとに選定委員を委嘱して以下の図書も選定する。

 - ①「夏休みの本(緑陰図書)」

全国 S L A が委嘱する選定委員により、夏休み中に子どもたちにぜひ読んでほしい図書として、「第 48 回夏休みの本(緑陰図書)」を選定する。
 - ②「青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」

全国 S L A が委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「課題図書」として、「第 62 回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」を選定する。
 - ③「読書感想画中央コンクール 指定図書」

全国 S L A が委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「指定図書」として、「第 27 回読書感想画中央コンクール 指定図書」を選定する。
 - ④「学校図書館図書整備協会(S L B A)選定図書」

全国 S L A の選定委員により、学校図書館の蔵書整備等を目的とした「一般社団法人学校図書館図書整備協会(以下、「S L B A」という)」の委嘱を受けて「S L B A 選定図書」を選定する。
 - ⑤「よい絵本」および「日本絵本賞読者賞 候補絵本」

全国 S L A が委嘱する選定委員により、生涯にわたる絵本読書の振興に寄与する「よい絵本」の選定および読者が投票する「日本絵本賞読者賞」の候補絵本を選定する。

調査研究事業

1. 「学校読書調査」の実施……………(2)

青少年の読書推進や読書環境整備等に資するため、読んだ本の量、読んだ本の題名、読書生活などの実態を調べる「第 61 回学校読書調査」を毎日新聞社と共催で実施する。この調査は、全国から抽出した小・中・高校生の約 12,000 人を対象に 6 月に実施する。
2. 「学校図書館調査」の実施……………(2)

学校図書館の整備・充実を図るため、学校図書館の蔵書、予算、職員、運営等の実態を調べる「平成 26 年度学校図書館調査」を実施する。この調査は、全国の小・中・高等学校から 3% を無作為抽出して 6 月に実施する。
3. 市区町村における学校図書館図書整備費予算化の実態調査の実施……………(2)

学校図書館整備推進会議と共催して、全国の市区町村教育委員会に対して、平成 27 年度の学校図書館図書整備費 200 億円を予算化するよう要請するとともに、各自治体に対する予算化状況のアンケートを実施する。
4. 「学校図書館基準」の作成……………(2)

学校図書館が機能を果たすためには一定の方針に基づいた継続的な経営・運営が必要である。全国 S L A では、さまざまな基準を作成し発表してきたが、それらを網羅する集大成ともいえる「学校図書館基準」作成のための準備を進める。
- ☆ 5. 学校図書館専門職員資格制度及び研修制度の調査研究の推進……………(2)

学校司書の法制化に伴い、司書教諭と学校司書の資格制度及び研修カリキュラム等に関する調査

研究を通して、司書教諭と学校司書の資質向上を推進する。

6. 特別支援学校の学校図書館整備に関するフォーラムの開催……………(2)
昨年度実施した特別支援学校対象の学校図書館調査を踏まえ、学校図書館の在り方や改善の方策、要望に応える支援などの研究を進めるためにフォーラムを開催する。

研究成果の刊行普及啓発事業

- ☆ 1. 『学校図書館ハンドブック』(仮題)の刊行……………(4)
学校図書館担当者に必要な資料をコンパクトにまとめた『学校図書館ハンドブック』の刊行に向けて企画・編集に取り組む。
- ☆ 2. 『学校司書のための学校図書館の運営』(仮題)の刊行……………(4)
学校司書の法制化に伴い、学校司書の仕事内容などを簡潔にまとめて、学校図書館運営に必要な実用書を刊行する。

啓発図書の刊行事業

1. 機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の刊行……………(5)
機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』を毎月定期的に刊行する。『学校図書館』は、学校図書館や青少年の読書に関する実践や研究論文等を掲載する。『学校図書館速報版』は、学校図書館や読書に関する最新ニュース、学校図書館メディアに関する情報等を掲載する。
2. 写真ニュース『としょかん通信』の刊行……………(5)
学校図書館や読書に関する情報および学校図書館の利用に役立つ情報を掲示用写真ニュースとして、月刊『としょかん通信』(小学生版・中高校生版の2種)を刊行する。編集を外部のプロダクションに委託することで、効率的な制作を目指す。
- ☆ 3. 『リテラチャーサークルの実践』の刊行……………(5)
リテラチャーサークルに関する解説と実践事例を広く紹介する『リテラチャーサークルの実践』を刊行する。
- ☆ 4. 『図書館ごよみ12か月』(仮題)の刊行……………(5)
『新図書館ごよみ』の重版を機に、新しいスタイルの『図書館ごよみ』を刊行する。
- ☆ 5. 『学校図書館ディスプレイ』(仮題)の刊行……………(5)
既刊2冊に加えて、新しい切り口の『学校図書館ディスプレイ』(仮題)を刊行する。
- ☆ 6. 『中学生・高校生のための探究学習スキルワーク』差し替え本の刊行……………(5)
書籍の絶版に代わるものを刊行する。
- ☆ 7. 『学校図書館学びかた指導のワークシート』改訂版の刊行……………(5)
書籍の増刷を機に改訂版を刊行する。

コンクールに関する事業

1. 青少年読書感想文全国コンクールの実施……………(1)
読書の習慣化を図り、豊かな人間性や考える力を育むことなどを目的とした「第61回青少年読書感想文全国コンクール」を毎日新聞社と共催で実施する。
2. 読書感想画中央コンクールの実施……………(1)
読書の感動を絵画表現することで読書力や表現力を養うことを目的とした「第27回読書感想画中央コンクール」を毎日新聞社と共催で、山口県・九州地区を除く38都道府県で実施する。

顕彰に関する事業

1. 「学校図書館賞」の授賞……………(1)
学校図書館に関する運動、論文、実践の3分野での優れた実績を顕彰する「第45回学校図書館賞」を授賞する。引き続き「第46回学校図書館賞」を募集する。
2. 「学校図書館出版賞」の授賞……………(1)
学校図書館向き図書の優良な出版企画に対して出版社を表彰することで学校図書館向き図書の出版の振興を目的とした「第17回学校図書館出版賞」を授賞する。
3. 「日本絵本賞」の授賞……………(1)

絵本芸術の普及、絵本読書の振興、絵本出版の発展に寄与することを目的に「第21回日本絵本賞」、「第21回日本絵本賞読者賞」を毎日新聞社と共催で授賞する。

青少年の読書活動にかかわるその他の事業

1. 「絵本週間」の実施……………(1)
優れた絵本文化の発展と、教育の場や家庭にいつそう絵本読書が定着することを願って第39回「絵本週間」を実施する。

公2 学校図書館を充実発展するための活動の普及及び啓発事業

研修会事業

- ☆ 1. 学校図書館担当職員のための実践講座の実施……………(1)
学校図書館の機能を充実させるため、学校図書館の業務に携わっている司書教諭や学校司書等を対象にした実践講座を開催する。
2. 「学校図書館セミナー」の開催……………(1)
図書館総合展において「第17回学校図書館セミナー」を開催し、学校図書館の今日的な課題を取りあげて研修する。
3. 「読書会コーディネータ養成講習会」の実施……………(1)
読書会の振興・普及に寄与する指導者養成のための「読書会コーディネータ養成講習会」を全国で開催する。
- ☆ 4. 「地区学校図書館研究大会」の開催……………(2)
隔年で開催している地区学校図書館研究大会を次の9地区で開催する。

第41回北海道学校図書館研究大会	9月4日・9月5日	北海道室蘭市
第37回東北地区学校図書館研究大会	11月5日・11月6日	秋田県秋田市
第33回関東地区学校図書館研究大会	8月6日・8月7日	東京都中野区
第28回北信越地区学校図書館研究大会	11月19日・11月20日	石川県白山市
第37回東海地区学校図書館研究大会	8月6日・8月7日	静岡県浜松市
第44回近畿学校図書館研究大会	8月6日・8月7日	大阪府大阪市
第29回中国地区学校図書館研究大会	11月26日・11月27日	岡山県倉敷市
第27回四国地区学校図書館研究大会	11月5日・11月6日	高知県四万十市
第37回九州地区学校図書館研究大会	8月6日・8月7日	鹿児島県鹿児島市
- ☆ 5. IASLオランダ大会への研修視察の実施……………(2)
IASLオランダ大会(6月28日～7月2日)への研修視察を通して各国の学校図書館関係者との情報交換および2016年のIASL東京大会に備える。

各組織への支援・委嘱等の事業

1. 各県SLA事務局長会議の開催……………(3)
全国SLAの事業、組織、活動について連絡調整を図るため各県SLA事務局長会議を2016年2月4日(木)に開催する。
2. 機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の活用と普及……………(3)
学校図書館に関する研究を深めるため、学校図書館スーパーバイザーや各県SLAの協力を得て、機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の活用と普及活動を行う。
3. 各県SLAのWebサイト作成……………(3)
全国SLAのWebサイト上に各県SLAのWebサイトを開設し、県SLAの情報提供、研究会・研修会の募集、県SLA組織内の連絡等の利用に供する。
4. 『各県交換情報Web版』の作成と活用……………(3)
各県SLAの組織や活動等に関する『各県交換情報』をWebサイトに掲載し、その活用を図る。
- ☆ 5. 各地区および各県SLAへの訪問の実施……………(3)
全国SLAと各地区や各県SLAの連携を強化するために全国SLA理事長・理事が訪問し、組

織運営や研究活動等について情報交換を行う。

- ☆ 6. 全国SLA研究協力員制度の検討及び委嘱……………(3)
全国SLAが行う研究活動や研究成果の普及を図る「全国SLA研究協力員制度」について検討し、各県SLAから研究、実践に熱心な教職員の推薦を受けて委嘱する。
- 7. 各県SLAへの研究助成……………(3)
各県SLAの研究活動を支援するために研究助成を行う。
- 8. メールマガジンの活用……………(3)
各県SLAおよび会員へ速やかな情報配信のためにメールマガジンを活用する。
- 9. 全国SLA「学校図書館スーパーバイザー」制度の拡充……………(1)
各地域や各校の学校図書館の活性化を図るために、全国SLA「学校図書館スーパーバイザー」制度を拡充する。

学校図書館の充実発展にかかわるその他の事業

- 1. 2016 IASL 東京大会の準備委員会関連事業への協力……………(6)
IASL東京大会の準備委員会等を通して、開催に向けての関連事業を整備する。
- 2. 学校図書館研究資料室の整備・充実……………(6)
学校図書館に関する資料の整備・充実、コンピュータによる蔵書の管理と活用等の研究を進める。